
ミニ小説劇場「占い」

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ミニ小説劇場「占い」

【コード】

N4801K

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

占いはばあのお話。原稿用紙二枚。

怪しげな露天の占いばあ。鼻が天狗みたいにでかくて不気味なオーラを出しておる。

「ほっほっほ。あなた、来年には結婚できますよ。ほっほっほ」

「あたし、もう結婚してます!!!」

「だから今年中に離婚するってことじゃよ」

「!!!!!!!」

普通、占い師というのは客を喜ばせるためにいいことだけを言うもんだ。でもこのばあは妙に正直で、しかも当たってしまう。まあ占い師というよりは超能力者なのであろう。

ある一人のメタボリックなおっさんが手を見せる。

「ど、どうでしょう。恋愛とかうまくいくでしょうか」

「いくよ」

「キ、キスとかできるでしょうか」

「できるよ」

「まさかエ、エ、エッチも」

「できるとも」

「やったー!!!!!!」

ガッツポーズをとるおっさん。

「でも刑務所に入るよ」

「ええええええええええ」

ばああは、何がええええええええええと思う。この親父は小学校の教師でロリコンなのだ。恋愛がうまくいけば逮捕されるのは当たり前じゃろうが。バカチンめ。

ばああはもうそろそろ店を畳もつかなと片づける準備を始めた。すると、二匹の犬がやってきた。

「わんわんわん」

「なんじゃ。占ってほしいの」

「わんわんわん」

「ばばあは、まアいいかと思ひ、二匹の犬の肉球を見た。

「ふうん。まアそうだねえ。あまり言いたくないのじゃが、旦那さん。あなた」

「わん？」

「奥さんに内緒で骨を庭に隠してるね？」

「わん！」

メス犬がじろりとオス犬をにらむ。

「ところで奥さん」

「わいん？」

「あなた、旦那に内緒で猫のにゃんキチと浮気してるね？」

「わん！」

オス犬が吠えた。

二匹はとっつかみ合いの大喧嘩をし始めた。げらげら笑うばばあ。たちが悪いばばあ。

向かいのフランス料理店のコック長が苦々しい目ではばあを見る。
「ばあさん。いくら本当のことでも言っていないことと悪いことがあるよ」

「ふん。ウソは嫌いなんじゃない」

「でもねえ」

「ふん。いいことを教えてやる。あと三分したら原爆がこの街に落とされるよ」

「ええっ」

「ずどおおおおおおおおおおおん。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4801k/>

ミニ小説劇場「占い」

2011年1月27日00時35分発行